

乙訓青年会議所は、明るい豊かな社会の実現を理想とし、次代の担い手たる責任感を持った指導者で在ろうとする青年の団体です。先輩諸兄が、弛まぬ努力のもと活動を続けて来られた33年間のJAYCEEとしての誇りを、熱い想いをもち次代に繋いでいかなければなりません。公益社団法人として3年目を迎え、名実共に公益団体として活動している我々は、今後更なる地域からの負託と信頼に応える為にも、公益性と透明性のある運営基盤を確立する事が必要です。

総務財政委員会は、先輩諸兄が築き上げて来られた素晴らしい会議運営形態を継承し、精度の高い会議が行えるよう、事業の立案から開催へ向けて積極的に関わります。各委員会との連絡や相談を密に情報を共有して、より活発な議論が行える議案を上程して頂けるよう活動致します。会議の重要性を認識し、事業は「計画・実行・検証」のいずれが欠けても成り立たない事を肝に命じ、各委員会の指南役で在り、良きパートナーで在るように努めます。公益性に関する項目も適正な目でチェックを行い、法令が遵守されているのかも厳正に管理致します。財務面では、事業内容に対して費用対効果をしっかりと見定め、透明性のある財務運営を行います。運営基盤を確立する為にも、システムやルールを周知徹底する事務事項説明会を開催し、LOM運営マニュアルや基本資料等を作成致します。役員セミナーでは、理事長より1年間の活動方針と方向性のご講演を頂き、役員のそれぞれの役割と責任や乙訓青年会議所のビジョンについて学ぶ事で、経験値に関わらず役員としての心得をご理解頂きます。5月例会では、京都ブロック大会日に開催地である亀岡の地に於いて開催致します。京都ブロック大会にも積極的な参加を促し、京都ブロック協議会との連携を図り、一番身近な日本青年会議所の運動を学んで頂きます。12月例会では、1年間の集大成として本年度の様々な活動を振り返って頂き、顕著な活動を行ったメンバーを褒賞にて称え、次年度以降へ青年会議所運動を伝承していきます。我々の運動を推し進める為には、一人でも多くの同志が必要です。この3年間で約40名のメンバーが卒業していく事を鑑みれば、会員拡大活動は急務です。多くの方に乙訓青年会議所の魅力を発信し、一人でも多くの同志が出来るように会員拡大委員会と連携致します。また、まちづくり事業や青少年育成事業にも積極的に協力し参加する事に努めます。そして、本年度は新5ヶ年行動指針の最終年度を迎え次代へ向けた指針の構想を行う為、ビジョン会議とも連携を密に致します。

1年間を通じ総務財政委員会では、委員会メンバーが組織運営の中核を担う事に責任と誇りをもち、真っ直ぐな心で、情熱的に取り組みます。現状に満足する事はせず、自分を律し進化させ、個々が進化すれば自ずと組織も進化する胸に刻み込み、何事にも勇猛果敢に新たなる可能性に挑戦し続けます。